

事業者向け 放課後等デイサービス・児童発達支援評価表

リハビリ発達支援ルーム U T キッズ 大和高田

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			スペースにあった人数で療育を実施しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準の職員配置を行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		段差はなく、トイレには手すりを設置しています。廊下・保護者室・療育ルームに手すり等の設置はありません。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			PDCA 研修を行っています。 職員ミーティングでは PDCA サイクル法を活用し、問題解決や業務改善を行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の意向を把握し、改善できるところは早急に対応できるよう努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は現在実施しておりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部勉強会、外部研修への参加を積極的に行っています。
適切な支援の	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			聴き取りシートを利用し保護者の思いや日常生活の聴取を実施するとともに、療育時の能力評価や必要があれば検査も実施し、客観的に分析したうえで計画書を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			発達記録や評価用紙等にて発達段階を把握するとともに、聴き取りシートを作成し生活場面の把握に努めています。

提供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			療育記録や事業所内会議にて療育の内容・課題など共通理解し療育に取り入れています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			多職種がそれぞれのアプローチを実施しながら固定化しないように努めています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個別療育を提供しているため平日・休日・長期休暇で分けることなく、特別支援計画書に基づき課題を設定しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者様のニーズに合った個別療育と小集団療育を組み合わせた計画書の作成を行っています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝朝礼を実施するとともに、療育記録、支援計画書の確認や療育前に職員間での打ち合わせを行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その都度問題点・保護者様からのご意見等を個人伝言表に書き込み、口頭で伝えながら職員情報共有しています。療育内容は療育記録を作成し、特に必要な事項は口頭でも共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			療育終了後に、その日の様子を療育記録に記入し、支援の検証・改善に繋げています。

関係機	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月に一度程度、保護者の方にモニタリングを行い、個別支援計画書・特別支援計画書の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			管理者、児童発達支援管理責任者はガイドラインの総則を読み統一しています。自立支援と日常生活の充実のための活動を中心に実施していますが、必要に応じて創作活動や交流を図っています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者、必要に応じて療育現場で担当している職員が参加しています。

関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②①	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			電話連絡、見学の受け入れ、保育所等訪問支援を通して学校との情報共有を行っています。
	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的措置の必要な利用者の受け入れはしていません。
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	2019年6月に新規開設であったため、現在実施していません。
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	2019年6月に新規開設であったため、現在実施していません。今後移行される方後おられれば情報提供を行います。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			定期的に研修を受けています。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		交流の機会は取っていません。年に1度地域の方も参加できるイベントを実施しています。
	②⑦	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	今年度参加する予定はありません。今後、機会があれば参加していきます。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			療育終了後に保護者と話をする時間を設け実施した内容、状況、課題について共通理解をしています。
保 護 者 へ	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			年3回程度保護者会を開催し、保護者様の悩み、思いなど話し合える場を設けています。
	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約前に重要事項説明書・利用契約書を使い、支援内容、利用者負担等について伝えています。また、いつでも閲覧できるように提示しています。

の 説 明 責 任 等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			専門職スタッフが対応しながら必要な支援を行っています。また事業所内相談を行っています。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者勉強会と同時に茶話会行っています。茶話会を通して保護者同士のつながりの場を提供しています。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者からの苦情・要望に対し真摯に受け止め迅速に対応できるよう努めています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的にホームページのブログ等で活動概要、行事のお知らせをしています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			名前入り書類等はシュレッターに掛ける。ブログ・イベントなど写真を撮る際は撮影・ブログアップ等の許可を取っています。個人情報は鍵付きの棚に保存するとともにデータは社内利用のみのサーバーを利用し、USBメモリ等での取り出しができないように設定しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			保護者との意思疎通は、細かく口頭説明し必要である際はプリントにてお知らせしています。子どもとの意思疎通は、能力や特性、得意な情報処理に合わせた意思疎通ができるように研修等を実施しています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		年1回、弊社のイベントとして地域住民を招待したイベントを実施しています。
非 常 時 等 の	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを使い研修を行っています。また、避難訓練実施後は報告書を作成し保護者室に掲示しています。

対 応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年間２回　火災、地震、防犯訓練を行っています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			県主催の虐待防止研修に参加し、定期的に事業所内研修会を行っています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束のルールを決定し、事業所内ミーティングで確認、保護者に説明し理解を得た上で療育を実施しています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			療育時に飲食をする事はありませんが、イベントなどで飲食する際は、事前に確認を取り不測の事態が無いよう十分配慮を行っています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			インシデント・アクシデントが発生した場合は、報告書を作成し職員間で共有し、未然に防ぐ努力をしています。